

令和2年度

区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会 プレ分科会

議 事 要 旨

開催日時	令和2年7月2日(木) 19:00~20:45
開催場所	Microsoft Teams 会議 / 麻布区民協働スペース スペース1・2 (併用開催)
参加者 (敬称略)	【分科会メンバー：18名】 相賀、大竹、小畑、鍵谷、加生、片岡、河又、北野、佐藤、城川、田中、 堂園、中村、峯崎、森田、唯是、吉野、吉松、 【事務局：2名】板橋(地区政策担当係長)、遠藤(協働推進係)
概 要	1 開会 2 近況報告 3 今年度の分科会運営について 4 アフターコロナ、ウィズコロナにおける地域事業について(意見交換) 5 その他
配付資料	資料1 港区基本計画・麻布地区版計画書策定に向けたスケジュール(案)
座長	<p style="text-align: center;">【会議経過】</p> <p>1 開会</p> <p>ただいまから令和2年度麻布地区政策分科会プレ分科会を開催します。記録のため、録音と撮影をしていますのでご承知おきください。</p> <p>当初の予定では、今年度は3回分科会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出自粛や営業自粛があり、私たちの日常生活や地域経済は大変深刻な影響を受けております。この数か月間で社会状況は大きく変化しました。</p> <p>今後の分科会はどのような形式で開催すべきか、また、アフターコロナ・ウィズコロナにおける地域事業のあり方も大きく変わる中で、まずは皆様のご意見を伺う機会を設けた方が良いと判断しまして、今年度第1回の前に、本日、プレ分科会として急遽開催することにしました。この後、順次、ご自身の近況報告をしていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、事務局から配布資料の確認をお願いします。</p>
事務局	(事務局の紹介・課長挨拶) (配布資料の確認)
座長	<p>2 近況報告</p> <p>本年3月に予定されていた提言式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりましたので、前回、皆さんにお集まりいただいた1月30日の第9回分科会から約半年ほど空きました。2月17日の提言書(案)閲覧会でお会いした方もいらっしゃいますが、これまで、完成した提言書の感想等の意見交換の機会がなかったので、完成した提言書が皆さんのお手元に届いてどのような感想を持たれたか、そして、ここ3か月ぐらいの近況などを、順にお話しいただきたいと思っております。</p>

(委員からの近況報告等)

3 今年度の分科会運営について

座長

それでは事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

座長

今年度のスケジュールにつきまして、何かご質問はございますか。特にないようでしたら、今後の開催形式につきましては、事務局と正副座長で調整したいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

4 地域事業について（意見交換）

座長

次に、地域事業についての意見交換です。提言書はビフォアコロナの状況で作成したものですので、今後のニューノーマル、新しい生活様式にそぐわないものが多少なりとあるかと思えます。また、皆さんが地域事業に対して望むことにも変化があったのではないのでしょうか。

ここで、アフターコロナにおける地域事業のあり方、もしくはウィズコロナにおける地域事業のあり方という視点で、今後、この麻布地区の地域事業をどう展開していくかよいか、皆さんのご意見をいただきたいと思えます。

A委員

コロナの影響下で、地域事業は行われるのかどうか。分野Ⅲのグループ討議で扱った「地方交流事業」や「地域サロン」、「あざぶ達人ラボ」はどのような形でやるのか、そもそも実施するのかどうかお聞きしたいと思えます。

事務局

現在、事務局では、来年度以降の麻布地区版計画について検討していますが、まず、今年度の地域事業をどう実施するかということで頭を悩ませています。参集会議型の事業については、会場定員の半分以下であれば開催できるということで実施していますが、皆さんに声をかけて、参集型の会議を行うことは、事務局としても抵抗がありますので、「あざぶ達人ラボ」を例にすると、今年度は、これまでの成果を基に印刷物や冊子を作成することに注力し、できるだけ参集型の会議回数を減らすことにしました。「ミナヨク」は、今年度の活動全てをオンラインで開催できるよう検討しているところですが、まだまだ手探りの状態です。今後、実施する地域事業についても、できる限りで、オンライン、リモート会議の活用を進めていくよう検討します。

座長

ほかにご意見はありますか。

B委員

「六本木安全安心プロジェクト」で毎月実施していた啓発活動が全くできない状況です。啓発活動は、地域情報紙「ザ・AZABU」に記事が掲載されていますが、「ザ・AZABU」も6月発行予定の52号が休刊、9月も発行されるか分からない状況です。もし、9月に発行されるなら、紙面を割いて「六本木安全安心プロジェクト」の活動紹介をしてほしいと思えます。活動紹介をするちらし等を作成し、改めて広報・周知を図った方がよいのではないのでしょうか。

事務局

「六本木安全安心プロジェクト」の周知については、提言書の総括で、ルールの強化と周知がご提案されていることもあり、新たな住民に対しても、これまでにない形での周知を検討しています。

C委員

現在、六本木地区を中心に8つの団体でボランティアをしているが、全て活

動が中止となっています。また、支所の地域事業「六本木安全安心プロジェクト」も中止になっており、麻布地区の安全安心に関する地域活動は機能しなくなっています。新型コロナウイルス感染症の影響、ウィズコロナの状況下で、今後、どう取り組んでいくか。この問題をもっと真剣に、区と共に考えていくべきだと思います。会議で集まることはできないが、六本木を中心とする麻布地区が今後も伸びていくためにどうすればいいのか、皆が真剣に考えるチャンスであるとも考えています。

また、現在、森ビルと住友不動産が再開発を進めている地区がありますが、どのような意図で開発するのか、六本木、麻布地区のまちづくりをどう考えていくのか、開発に携わる人々を交えて話し合う機会を設ける必要があると思います。

D委員 新型コロナウイルス感染症の拡大、影響について、「早く元に戻るといいね」とおっしゃる方がおりますが、ほとんどの専門家の方は元に戻るのではなく、時間軸はもっと早くなる、先に行くと考えています。ですので、もしかしたら、地域とは何かというところから、もう一度考えなければいけなくなるかなと思っています。インターネットでつながって、広くコミュニケーションがとれる中で、地域の中で交流するだけでよいのかという点から考えないと、次の提言書は、意味を成すものにはならないのではと思っています。

E委員 みんなが集まって、互いの顔を見られる環境で行ってきた事業が多いので、やり方を根本的に変えないと続かないのではないかと思います。新型コロナウイルス感染症の集団免疫ができるのは、まだ先のことになるかと思うので、個々の地域事業が、ウィズコロナの状況下で、どのような形であれば実施できるのかチェックする必要があると思います。C委員からのお話にもありましたが、六本木では、休業している飲食店も多く、活気がなくなっています。ウィズコロナの状況下で、地域事業を一部縮小する一方で、オンラインで地域の結びつきができる取組、集まらずにつながりができる取組ということを考えていけたらよいと思います。

F委員 新型コロナウイルス感染症の影響下で、これからの地域事業等は、印刷物だけではなく、後で動画を見ることができるよう、新たな取組ができないのであれば、過去のものを見ることができるようシフトするのが、大きな意味を持つ取組になるのではないかと思います。

座長 ありがとうございます。アフターコロナ、ウィズコロナにおける地域事業のあり方について、ほかにご意見がある方は、7月9日木曜日までに事務局へ提出してください。皆様のご意見は、麻布地区版計画書に反映されるよう、正副座長で事務局と調整しますので、今後の取扱いは、座長と副座長にご一任いただけますようお願いいたします。

(異議なし)

座長 それでは、事務局から連絡事項等をお願いします。

5 その他

事務局 ① 次回(第1回分科会)の予定
・8月末開催予定。日程等の詳細は、書面又はメールで後日連絡。

② その他

- ・ 提言書について、区ホームページの紹介。
- ・ 六本木安全安心プロジェクト～おうちごはんステイホーム～について、区ホームページの紹介。
- ・ 記念撮影
- ・ 今後の分科会運営についてのアンケートのお願い

座長
副座長

最後に、副座長から総括をお願いいたします。

皆さんありがとうございました。麻布地区政策分科会としては初めての試みとしてオンラインで開催し、また会場にも参加者がいて、すごいハイブリッドのミーティングとなりました。

きょうは、皆さん一人ひとりのお話やご意見をたくさん聴くことができ、短い時間ですごく親近感を持たれた会になったと思いました。こういった和気あいあいとした雰囲気の中で、いろいろなプログラムを実施できるところが、この分科会の強みなのかなと思っています。オンラインの会議の方が参加しやすいというコメントもありましたので、皆さんが参加できるよう、オンライン会議との併用で分科会の開催を継続していければいいなと考えています。

また、ウィズコロナといいますか、時代に合わせてどのように地域事業をやっていくのかを今後話し合っていけるのがとても楽しみです。これからも皆さんと意見交換しながら、次の提言に結びつけていきたいなと思っています。

皆さん、どうぞ健康にお気をつけて。また次回、お目にかかれることを楽しみにしております。ありがとうございました。

座長

皆さん、初めての試みに色々ご協力いただきましてありがとうございました。次回以降も、オンラインと会議室集合型の併用で開催できそうですが、その時々状況下で、分科会にとって最善の方法を考えて運営していきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いします。

これを持ちましてプレ分科会を終了します。皆さん本当にありがとうございました。

以上